

このメッセージの表示に問題がある場合は、[ここ](#) をクリックしてWebブラウザで表示してください。



UpToDateニュース

発行：2024年2月21日



「UpToDate®ニュース」では、英文ニュースレター「Current UpDate」で取り上げている、UpToDateに最近追加・更新された重要な情報や、「UpToDate Connection」に掲載している製品関連情報の抄訳記事の他、お役に立つ情報を日本語でお知らせしています。リレーコラム「UpToDateとわたし」は、日々の臨床や医学教育にEBMを実践されている医療従事者の皆様に原稿を執筆いただいています。ぜひ最後までお読みください！

アカウント再認証はお済みですか？

UpToDateログインIDをご確認ください。アカウント認証は90日で失効しますが、施設内でアカウントにログインすれば復活します。

目次

- EBM実践者のリレーコラム「UpToDateとわたし」
 - 神戸大学 岩田健太郎先生 執筆
- 臨床情報
 - 早産児における臍帯結紮の遅延^(*1)
 - 肺高血圧症患者における心嚢穿刺のリスク^(*2)

- 合併症のない虫垂炎に対する虫垂切除術のタイミング^(*3)
- UpToDate活用のヒント
 - 腫瘍学分野の閲覧数上位トピックランキング
 - 導入事例：「医師と同じ目線を看護に取り入れたい」名古屋医療センター、看護師の知識向上と育成にUpToDateを活用
- イベント情報
 - 定期オンラインセミナー開催のお知らせ
 - 働き方改革オンラインセミナーを開催しました
- Internet Explorer11 (IE11) のサポート終了に関して
- 読者アンケート

本ニュースレターに含まれるUpToDate掲載トピックは、編集時点の情報です。最新情報は、UpToDateにログインしてご確認ください。専門領域別の「What's New」や「Practice Changing UpDates」を読むには、[こちらをクリック](#)してください。

(*1) 2023年12月20日発行 Current UpDate (Volume 9、Issue26) 掲載記事抄訳

(*2) 2023年12月6日発行 Current UpDate (Volume 9、Issue 25) 掲載記事抄訳

(*3) 2023年11月22日発行 Current UpDate (Volume 9、Issue 24) 掲載記事抄訳

本ニュースレターは、UpToDate施設契約のご利用施設に在籍し、アカウント登録を完了しているお客様にお届けしております。以下のリンクからUpToDate臨床トピックにアクセスできない場合は、所属施設の契約管理者様にお問い合わせ下さい。

EBM実践者のリレーコラム「UpToDateとわたし」

臨床医をbest AVAILABLE evidenceへ導く身近な二次情報ツール

神戸大学

岩田健太郎

UpToDateを使いだしたのはニューヨーク市で内科研修医をしていたころだ。もう20年以上もお世話になっている。

UpToDateはいわゆる「二次情報」を扱うツールで、臨床的な疑問に答えを出してくれる身近なツールだ。たしかに原著論文を読むのも大切だけど、原著論文が「日常診療の素朴な疑問」に答えを与えてくれる可能性は低い。仮に答えてくれたとしても、それはシステムティックにたくさんの原著論文を参照して初めて得心を得る回答だ。論文執筆のときなどはこのオーセンティックな方法を取るが、膨大な時間と労力を要する。診療時の疑問を解決する方法としては下策である。このやり方だと大抵の場合、忙しさにかまけて途中で調べるのを止めてしまう。

二次情報を扱うツールはUpToDateだけではない。だから、僕もこれまでいろいろなツールを試しては比較してきた。だが、何十年もやっていて今も愛用しているのはUpToDateだけだ。

UpToDateに対する批判として、各執筆者の個人的な見解が含まれていて完全にエビデンスベースとは言えない、というものがある。僕は「だからこそいい」のだと思っている。僕がやりたいのはエビデンスの集積ではない。僕は臨床試験の名前を全部暗記しているようなエビデンスオタクでもない。診療上に生じた疑問に答えてほしいのだ。患者の役に立ちたいのだ。

その疑問に「明確なエビデンスがない」と分かることもとても大事だ。そこが我々の知の境界線だと知るのは大きな学びなのだ。その先にあるのはエキスパートオピニオンだが、そのトピックを知悉したプロによる見解だ。これ以上の見解がゴロゴロ転がっている可能性は非常に低く、少なくとも大いに参考にはなる。「こっから先はエビデンスがないのでノーコメントです」と木で鼻をくくったような対応をされるよりはるかによい。我々臨床医はエビデンスがあろうとなかろうと、患者にベストを尽くさねばならないのだから。サケットが言うように、そこに専門家の見解しかないのならば、それがbest AVAILABLE evidenceなのである。

UpToDateにも明確な答えが得られない場合は、そこが知性の境界線だ。それは臨床研究を発案するきっかけにもなる。僕はエビデンスの境界線をいつも希求し、自分が研究するネタを常に探している。UpToDateに使ってもらえるようなエビデンスを創出したい。というわけで、研究のネタ探しにもUpToDateは大いに役に立っているのである。

今回は、ユタ州ソルトレイクシティのLDS Hospitalで呼吸器、集中治療の専門家としてご活躍の田中竜馬先生にお願いしました。前回の八重樫牧人先生もそうですが、ニューヨーク市で内科研修をともした仲間です。お楽しみに。



臨床情報

早産児における臍帯結紮の遅延

早産児では臍帯結紮を遅らせた方がよいというエビデンスが増加しています。37週未満の出生児（3,200人超）において、臍帯結紮を遅延させた場合と即時に行った場合の無作為化試験の個々の被験者データのメタアナリシスでは、臍帯結紮を30秒より長く遅延させると退院前の死亡が減少しました（6%対8%）。最適な遅延時間を評価するネットワークメタアナリシスでは、長めの臍帯遅延結紮（120秒以上）は、即時に臍帯結紮を行った場合と比較して退院前の死亡を有意に減少させました。ただし15秒から120秒未満の臍帯遅延結紮でも退院前の死亡の減少を認めましたが、統計学的に有意ではありませんでした。蘇生処置を必要としない早産児では、臍帯結紮を直ちに行うよりも、遅らせることを推奨します。胎盤から胎児へ移行する血液の約75%が出生後1分間で供給されることから、我々は臍帯結紮を少なくとも30～60秒間遅らせています。

詳しくは、[「Labor and delivery: Management of the normal third stage after vaginal birth」](#)（陣痛および分娩：経膈分娩後の正常な第三ステージのマネージメント）内のセクション「[Preterm infants](#)」（早産児）をご覧ください。

肺高血圧症患者における心嚢穿刺のリスク

ケースシリーズは、肺高血圧症（PH）患者では心嚢穿刺中に血行動態が破綻する危険性があることを示唆していますが、データは限られており、矛盾した点も

あります。心嚢穿刺を受けた95,000人以上の成人（約8,000人のPH患者を含む）を対象とした米国の全国入院患者サンプルデータベース研究では、入院中の転帰が評価されました。PHに罹患していない患者と比較し、PH患者では、心嚢穿刺が院内死亡及び処置後ショックの高い調整後発生率と関連していました。これらの知見から、心嚢穿刺中の血行動態モニタリングは、PH患者において特に重要であることが示唆されます。

詳しくは、「[Pericardial effusion: Approach to management](#)」（心嚢液貯留：管理へのアプローチ）内のセクション「[Pulmonary hypertension](#)」（肺高血圧症）をご覧ください。

合併症のない虫垂炎に対する虫垂切除術のタイミング

虫垂切除術は穿孔のリスクを減らすために緊急に行われるのが通例となっています。しかし、合併症のない虫垂炎と診断された成人1,800人（コンピュータ断層撮影で虫垂結石が確認された患者を含む）を対象とした無作為化試験では、手術前に最長24時間の院内での待ち時間を設けるグループに割り付けられた患者では、8時間以内に手術を行うグループに割り付けられた患者と比較して、穿孔やその他の合併症リスクが同程度であることが明らかになりました。これらのデータと、これらの患者に対する抗生物質管理が一般的に受け入れられていることを考慮すると、我々は、手術を受けることを選択した合併症のない虫垂炎患者では、発症後24時間以内に虫垂切除術を行うことを推奨します。

詳しくは、「[Management of acute appendicitis in adults](#)」（成人における急性虫垂炎のマネージメント）内のセクション「[Timing of appendectomy](#)」（虫垂切除術のタイミング）をご覧ください。

UpToDate活用のヒント

腫瘍学分野の閲覧数上位トピック ランキング

UpToDateでは、現在25領域、12,300以上のトピックを掲載しています。今回は2023年に日本からのアクセスが最も多かった腫瘍学分野のトピック上位5タイトルをご紹介します。

順位	タイトル
1	免疫チェックポイント阻害剤による毒性
2	胃癌の臨床的特徴、診断、および病期分類
3	高用量メトトレキサートの治療使用および毒性
4	大腸癌の臨床症状、診断、および病期分類

5 肝細胞癌に対する治療法の概要

出典：2023年1月から2023年12月までの日本の利用者のアクセス状況より。

導入事例：「医師と同じ目線を看護に取り入れたい」 名古屋医療センター、看護師の知識向上と育成にUpToDateを活用

患者に寄り添い幅広い業務を行う看護師は、チーム医療の中心的な役割を担っています。また、タスク・シフト/シェアの動きの中で、優れた判断力や知識・技術を持つ看護師の活躍に患者や医療スタッフの期待が寄せられています。今回は、看護業務や看護師の育成に臨床意思決定支援リソースUpToDateを活用されている、名古屋医療センターの副看護師長・診療看護師（Nurse Practitioner：NP）立松美穂さんにお話しを伺いました。詳細は[こちら](#)をお読みください。

イベント情報

定期オンラインセミナー開催のご案内

臨床・投薬意思決定におけるさらなるEBM実践を支援するため、UpToDateおよびLexicompの活用方法に関する無料のオンラインセミナーを定期開催してまいります。開催告知メールを現在受信しておらず、今後ご希望の方は、こちらのフォームよりご登録をお願いします。毎月1回程度、Eメールでご案内いたします。皆様お誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。年間スケジュールは[こちら](#)よりダウンロードいただけます。

登録受付中

- 3月6日（水） 5:30pm～6:10pm 医薬品の選択・投与・副作用とエビデンスの調べ方 [お申込み・詳細](#)

開催予定（受付準備中）

- 3月21日（木） 6:30pm～7:00pm 新入職者のUpToDate利用をサポートするためのセッション
- 4月17日（水） 5:00pm～5:30pm 30分でわかる！UpToDate入門オンラインセミナー（新入職者向け）
- 4月22日（月） 5:00pm～5:30pm 30分でわかる！UpToDate入門オンラインセミナー（新入職者向け）
- 4月25日（木） 5:00pm～5:30pm 30分でわかる！UpToDate入門オンラインセミナー（新入職者向け）
- 5月9日（木） 5:30pm～6:10pm UpToDate徹底活用セミナー
- 5月22日（水） 5:30pm～6:10pm 「対話型クリニカル・パス」および「臨床検査ガイドライン」の徹底活用

- 6月25日（火） 5:30pm～6:10pm医薬品の選択・投与・副作用とエビデンスの調べ方
- 7月11日（木） 5:30pm～6:10pmUpToDate徹底活用セミナー
- 8月21日（水） 5:30pm～6:10pm医薬品の選択・投与・副作用とエビデンスの調べ方
- 9月19日（木） 5:30pm～6:10pmUpToDate徹底活用セミナー
- 10月22日（火） 5:30pm～6:10pm「対話型クリニカル・パス」および「臨床検査ガイドライン」の徹底活用
- 11月14日（木） 5:30pm～6:10pm医薬品の選択・投与・副作用とエビデンスの調べ方
- 12月17日（火） 5:30pm～6:10pm30分でわかる！UpToDate入門オンラインセミナー

※「UpToDate徹底活用セミナー」の内容は、「UpToDate入門オンラインセミナー」と一部重複しますが、より踏み込んだ解説や未紹介のコンテンツ・機能の紹介を行いますので、同講座を受講済みでもお楽しみいただけます。

※上記開催日時は予告なく変更になる場合がございます。

※参加登録ページで開催日時が海外のタイムゾーンで表示された場合は、「東京時間」をご選択ください。

働き方改革オンラインセミナーを開催しました

2023年12月20日（水）にオンラインセミナー「働き方改革直前 医療の質向上と業務効率化はどのように両立するか？」を開催いたしました。モデレーターとして聖マリアンナ医科大学の北野夕佳先生、スピーカー/パネリストとして順天堂大学の西崎祐史先生、聖隷浜松病院の本田優希先生をお招きし、今注目のトピック「働き方改革」や業務効率化について、UpToDateの実演も交えながらご講演いただきました。

アーカイブ動画は[こちら](#)より閲覧可能です。

製品サポート情報

Internet Explorer 11（IE11）のサポート終了に関して

2022年6月15日のマイクロソフト社によるIE11のサポート終了を受け、弊社としては、UpToDate、UpToDate Pathways、およびUpToDate Enterpriseの各プラットフォームに対するセキュリティの強化を行います。（一部のお客様には、2023年12月20日頃に弊社米国本社から「IE11 Retirement」というタイトルにてご案内させていただいております）

つきましては、各製品のIE11のサポート終了の日付をご確認ください。

- 2023年12月31日：UpToDate PathwaysおよびUpToDate EnterpriseプラットフォームにおけるIE11のサポートの終了
- 2024年6月20日：UpToDateのIE11のサポート終了

お客様にUpToDateを快適にご利用いただくため、今後はEdge、Chrome、Firefox、Safariの最新バージョンを含む、サポート対象ブラウザのご利用をお願い申し上げます。

お手数ではございますが、本ご案内を貴施設内のご担当様にご転送いただけましたら幸いです。ご不明な点は弊社の貴施設担当スタッフまでお問い合わせください。

読者アンケート

読者アンケートにご協力をお願いします

UpToDateニュースをお読みいただきありがとうございます。今後お読みになりたいコンテンツのご希望について、アンケートにご協力をお願いします。回答をお寄せいただいた方の中から、先着10名の方にウォルターズ・クルワー特製記念品をお贈りさせていただきます。なお、当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

[こちら](#)よりアンケート回答フォームにお進みください。

このお知らせはお役に立ちましたか？



[Privacy Policy](#) | [Manage Email Preferences](#)

Follow Wolters Kluwer

Wolters Kluwer
230 Third Avenue Waltham MA 02451



本メールは、ウォルターズ・クルワーからのEメール・コミュニケーションにご登録された方にお届けしております。

[Lexicomp®](#) | [Medi-Span®](#) | [UpToDate®](#) | [Emmi®_patient_programs](#)

© 2024 Wolters Kluwer and its affiliates and/or licensors. All rights reserved.



Wolters Kluwer